

令和2度「飼料用米多収日本一 関東農政局長賞」受賞者の取組概要

【千葉県】

褒賞名	関東農政局長賞
候補者名	カブ シキ ガイ シャ 株式会社エグチライスファーム ダイヒョウ トリシマリヤク エ グチ 代表取締役 江口 さやか
所在地	千葉県柏市
品種名及び作付面積	夢あおば:約1.9ha
10a当たり収量	689kg/10a
地域の平均単収からの増収	182.9kg/10a
取組内容	○経営形態・経営面積・作付品種及び各面積 ・水稻約4.0haと露地野菜約65aの複合経営 ・主食用米(コシヒカリ):約1.6ha、加工用米(ヒメノモチ):約0.5ha、飼料用米(夢あおば):約1.9ha ○多収品種への取組状況(取り組んでいる期間や経緯等)・作付品種及び面積・品種選択の理由等 ・平成27年からアキヒカリの栽培を開始したが、早稲のためスズメ等の鳥害に多く遭い収量が上がらなかったため、平成28年からは夢あおばに品種を変え栽培中 ・夢あおばは、主食用米の後に収穫となり作業の分散が図れると同時に、立毛乾燥が進むため、乾燥機の稼働時間の縮減もでき、コスト低減になっている ○多収を達成するために取り組んだことについて (播種形式・施肥方法・水管理等、生産性向上に向けた取組) ・移植と同時に基肥施肥、除草剤散布を行っている ・生育に合わせた細やかな水管理をするため、溝切を行っている ○その他コスト削減等の取組があれば具体的に記載 ・JGAP認証を取得し、昨年のデータを元に改善した上で栽培計画を立て、無駄のない効率的な栽培を心がけている ・自社で乾燥・調整し、フレコン出荷することにより、出荷作業の省力化ができている